



# が見つけた遠隔授業での学び

本企画は、遠隔授業を受けている福大生の皆さんにインタビューし、遠隔授業での学びや大学生活について紹介するものです。学生の皆さんには、同じ学友としての仲間が苦労しながらも頑張っている姿とおして、少しでもヒントを得てもらえればと思っています。七隈キャンパスに集えない状況ですが、福大生たちが共に学んでいる様子をお伝えしていきます。

## Case 1：遠隔授業の経験を就活に生かす

記念すべき1回目は、経済学部・経済学科4年次生の川端さくらさんです。これまでの大学生活では、友人と共に授業を受けて「友達がいるから頑張れる！」と語る川端さん。普段は、アルバイトに力を入れ、就職をしたら仕事を長く続けたいとのこと。学生のうちにできることを精一杯頑張りたいそうです。そんなアクティブな川端さんに、遠隔授業を受けた感想や自粛期間中の気分転換、さらには就職活動に至るまで（遠隔授業が就活にも良い影響を与えたそうです！）、その辺りのお話を伺いました。



経済学部経済学科  
4年次生

川端 さくらさん

### 最初はパソコンの操作に戸惑った

遠隔授業が始まる時は、「えー、一人で受けるの!？」という寂しさが真っ先に襲ってきました。日頃はスマートフォン中心の生活で、パソコンを使うことがなかったので、最初はWebexの使い方が「？」状態でした。自分の顔が映っているのかいないのか、ミュートになっているかどうかにかんがって困惑気味だったので、最初のうちは同じ授業を受けている友人と「今見れてる?」「え、これで合ってる?」とか確認しながらやっていました。また、分からないことは遠慮なく画面を見せてもらいながら（スマホを活用しながら）教えてもらったりしていました。

### 遠隔授業は場所を選ばない?!

これまではアルバイトが多忙でなかなか実家に帰れずで…。ただ4月に入り予期せぬ事態で実家に帰省できる期間ができました。帰省できたのは遠隔授業の仕組みのおかげで、実家でも授業を受けられるなんてすごく便利だなと感じました。実家では自分の部屋がないので、リビングで受講していました。小学生の弟と妹も遠隔授業だったので、「今の時代はすごいねー!」と、家族3人でパソコンを並べて受けていました（笑）

### やりがいのあるアルバイトで気分転換

自粛期間中は、妹と一緒にUVレジン（樹脂を固めてアクセサリーなどを創作する）で工作したり、料理やお菓子作りをしたり、実家ならではのことをして気分転換をしていました。自粛明けは、アルバイトが気分転換になっています。アパレル関係で、アルバイトでも仕事を任せてもらっていて、営業目標もあるんですけど、これが達成できないとがっかりしながら帰ってます。でも、「明日はこうしよう」「これだけ徹底してやろう」と自分なりに工夫したら、ちゃんと数字もついてくるようになって、社員の方も積極的に意見交換をしてくれるので、やりがいがあったりとても楽しいと感じています。やりたかったアルバイトです

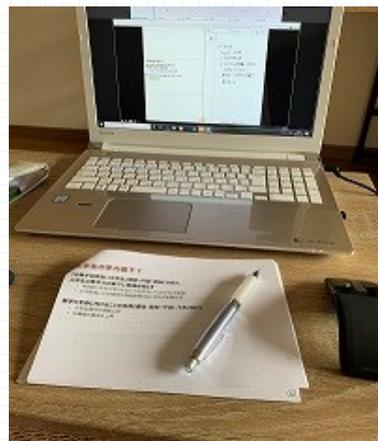
し、今は大学生の間にしかできないことへの充実感でいっぱいです!

### 遠隔授業のココが良い!

この前期は専門科目を4つ受講しています。1つは、YouTubeで動画を見るオンデマンド配信型で、残りの3つはWebexのリアルタイム配信型で、先生がパワーポイントを映して講義される授業でした。1週間以内に視聴して課題を解く形式のオンデマンド配信型の授業は、アルバイトが忙しい自分にはとてもありがたく、バイトがない日に、**自分の好きな時間に自分のペースでまとめて勉強できるのが嬉しいですね。**「今やろう!」「今やらなきゃ!」って感じで集中してやれてるかな。それに、聞き取れなかったり、わからなかったら戻してもう一度確認できるし、逆に理解出来ているところは**1.5倍速にできたりするので、とても効率的だな**と感じました。

リアルタイム配信型の授業でも、先生が授業資料等をWeb上に残してくれる場合はとても助かりますね。「え、ここわかんなかった」という時でも、後で**見返して書き込めますし、ノートが取りやすくなりました。**対面授業のあるある「一番後ろに座ってしまった、黒板が見にくい(汗)」という焦りとは無縁です（笑）

今は毎日のように**FUポータルを通じて授業にアクセスするので、FUポータルとかメールを頻繁に見るようになりました。**これまでは必要に駆られることがなくてあまり確認してなかったんですけど、自分に関する情報って結構多いものなんだと、これを機に気づきました。



遠隔授業中の様子

## 遠隔授業のココが困った！

授業中ずっと誰かのテレビ音が流れているときがあつて…遠隔授業は音が大事ですよねやっぱり。自分もミュート解除になっていないか、いつもドキドキしながら受講しているの、先生のほうで全員ミュートにしてくれる機能があるといいなと思います（笑）

あと、やむを得ないことではありますが課題の量がちょっと多くて大変です（汗）。もちろん先生も配慮してくださっていますが、それぞれの授業の課題が同じタイミングになることも多くて…。あわせて、定期試験がないわけですけど、課題を提出していれば本当に単位をとれるのかなという不安もあります。成績をつける先生方も困ってらっしゃると思うんですけど、その辺り情報があるといいなと思います。

### Check！ 成績評価の方法は？

成績評価の方法は、各授業担当者からFUポータル「講義内容照会」で公表され、授業中に説明されることになっています。もしわからない点がある場合は、各授業担当者に確認しましょう。加えて、課題としてレポートが課されるケースが増えています。教育開発支援機構HPに掲載の「福大生のための学習ナビ」や、機構Twitter (@fu\_idshe) 「#レポート執筆のコツ」でレポートの書き方を紹介していますので是非参考にしてください。

## 遠隔授業での経験が就職活動でも役に立つ

福大が主催している「就活キャンプin東京」で出会った企業とご縁があり、内定をいただきました。日用品の卸売りの会社なので、全国を飛び回ることになりそうです。今回の就職活動ではzoomとかのWeb面接が導入されていたこともあり、遠隔授業でパソコンの使い方に慣れておいてよかったあと感じることもしばしば！急にWeb面接が入ってもスムーズに使えましたし、遠隔の心構えも自然とできていたのも大きかったですね！これを機にパソコンの便利

さを再認識したので、パソコンで写真とかいろいろなデータをまとめたりすることにも着手しました。

## 大学生活に友人は欠かせない存在

遠隔授業も対面授業もそれぞれ良さがあると思います。遠隔授業は、自分のペースで授業を受けられる良さがあるので、プライベートとの両立がしやすいですね。ただ、私の場合は友人が頑張っているところを見ると、「自分もやらなきゃ！」って思う性格なようで、友人に会えないことがやる気の低下につながってしまいます。「今聞いた方がいいんじゃない」「明日小テストだってよ」と友人と合っていた対面授業の方がその時の授業そのものには集中できていたように今考えるとと思います。

コロナ以前からゼミのみなまでご飯に行ったり、就活の情報共有をしたりと普段からやり取りしていたこともあって、直接会えない4月以降もSNS（主にInstagram）で大学の情報を共有していました。私にはそんな友人がいてくれるので、遠隔授業で困ることがあっても、情報を共有して協力しながら毎日やっていけています。私の大学生活には、友人の存在は欠かせないですね。

## 福大生へのエール

### 遠隔授業で得たスキルは、就活にも役立ちます！

就活においてパソコンを使うことが多くなるので、スマホではなく、今のうちにパソコンに慣れておくと良いと思います。今まで面接を受けに東京に行かなきゃいけなかったのが、今後はWeb面接が増えていきそうです。相手とのWeb上でのコミュニケーションを含め、パソコンに慣れる経験を是非積んでいってくださいね！



注：Webでインタビューさせて頂いた内容を元に再構成しています。文責は、インタビュー担当者にあります。



## 目指せ！遠隔授業マスター☆

### 今回のキーワード：アフォーダンス

みんなが遠隔授業でお世話になっているパソコン。状況によってはタブレットやスマートフォンを使うときもあるかもしれませんね。これらの違いは何気ないようで、実はみんなの学習に影響を与える要因でもあります。モノ（環境）が私たちに与えている“意味・価値”のことを認知科学の分野では「アフォーダンス」と言いますが、日常において私たちは無意識にこの影響を受けています。この無意識の部分に少し敏感になってみて、自分の学習がうまくいっている時の状況に自覚的になってみることをオススメします。そこにはどんなモノ（環境）が準備されていて、どう使われているのでしょうか？もし遠隔授業が自分に合っていないなあと感じたら、身の回りの環境を見直してみるといいかもしれませんね。



編集・発行：福岡大学教育開発支援機構（A棟地下1階）

内線：2852・2853 E-mail：kyokiko@adm.fukuoka-u.ac.jp

HP：http://www.idshe.fukuoka-u.ac.jp/ Twitter：@fu\_idshe

令和2年7月21日発行